

8月選抜

令和2年度 人間発達教育専攻  
芸術表現系教育コース（美術） 試験問題

受験番号					
------	--	--	--	--	--

令和2年度 人間発達教育専攻  
芸術表現系教育コース（美術）試験問題

注意事項

- 1 問題Ⅰ〔美術科共通問題〕は全員が解答し、問題Ⅱ〔美術問題〕は3問のうちの2問を選択し解答すること。
- 2 問題Ⅰは1枚の解答用紙を使用せよ。ただし、問題Ⅱについては、1問につき1枚の解答用紙を使用し、解答用紙の問題番号欄に例のように記入せよ。（例：Ⅱ-問1）

問題Ⅰ〔美術科共通問題〕

平成29年告示の学習指導要領の小学校図画工作科及び中学校美術科において、各学年の目標及び内容の「2 内容」の「A 表現」は(1)の発想や構想に関する項目と(2)の技能に関する項目で構成されている。(1)の発想や構想に関する項目に含まれる2つの活動をあげ、各々の特徴について述べよ。なお、小学校図画工作科と中学校美術科のいずれかを選択し、解答のはじめに、どちらを選択したか明記せよ。

問題Ⅱ〔美術問題〕

次の問い（問1～問3）のうちの2問を選択し解答せよ。

- 問1 画家 エドゥアール・マネ (Édouard Manet) について、知るところを述べよ。
- 問2 陶芸家 河井寛次郎について、知るところを述べよ。

[問3は次ページに記載]

問3 次に示す複製図版と解説文を読み、下の問い（ア～ウ）に答えよ。



【解説文】

初期のアヴァンギャルド絵画のなかでも、ジョルジョ・デ・キリコの絵画は思いもよらぬ古典主義的な造形を示した。本作品では、地中海域の都市風景を静物画の事物と組み合わせており、古典的なアーケード（列柱廊）、奇妙に大きなアーティチョーク（朝鮮アザミ）、大砲と砲弾、時計、煉瓦積みの工業用煙突、モニュメンタルな柱塔、走る列車、小さな四角い帆を張った船など、デ・キリコの絵画の多くに登場するお馴染みの要素は、神秘的なパズルの各ピースのようにみえる。さまざまな事物の異様な対置の舞台をなすのは、イタリアのとある広場であり、無人のようにみえるが、広場の情景の端、外側から影のような人物が忍び寄っている。

デ・キリコは、事物を故意に剥き出しにするものの、ありのままに、正確に描いている。情景は平板な塗りでとらえられるが、眩しい色彩のなかにあつて、冷たい白い光に照らされる。こうした明晰な様式で描かれた《賢者による征服》のような作品は、意味に満ちあふれるもののようにみえながらも、しかし断固として、謎めいたものであり続ける。実際、連関性の無い事物を対置させることにより、画家は「いくつかの側面で…神話の揺るぎの無さに似るような芸術」と呼んでいたもの、すなわち形而上学的な特質をそなえる絵画を生みだそうとした。デ・キリコの作品は、1920～30年代に夢や無意識のイメージをとらえようと企てたシュールレアリスト達に深い影響を与えることとなる。

ア 「アヴァンギャルド」の日本語訳は何か。漢字2文字で書け。

イ この絵画は《賢者による征服》と題される。〈賢者〉はどのように表現されているのか、《賢者による征服》とは一体どのようなものか、考えられることを自由に述べよ。

ウ この絵画のどのような要素が「古典主義」的であると考えられるのか。説明せよ。